



夏まつさかりの七月二十一日(土)の昼過ぎから夜にかけて、記念すべき第十回目となるしもじょうまつりが村民グラウンドを会場に盛大に開催されました。

気温三十六度を記録する猛暑のなか、特設ステージでは村内外から過去最多の十五団体の発表しました。武道の厳しさと楽しさを学び大きな成果を残す下條少年剣道クラブ、武道空手少年クラブらによる模範試合も暑さに負けない引き締まったものでした。

初登場のアップルけん玉クラブは小学生が結成した新しいクラブで、大勢のお客さん前で技を披露する緊張のなか、進行と共に徐々に難易度を増していく内容で観客を釘付けにしました。同じく初登場の大鹿の「美翔蓮」や根羽の「緑心技は「よさこい」等の和の舞いをアレンジした勇壮なものでしたが、フライト、PENNOやTDなどの村外のストリート系ダンスチームの参



加、お馴染みのコスモキッズも注目を集めました。夕方にはお祭りの目玉、カッセイカマンシヨウや小学四年生のコーラス、「村吹小」による演奏発表もあり、締めくくりは小学生の保護者おやじの会によるバンド演奏が、世界にひとつだけの花などの名曲披露や、会場のお客さんが手をつないで大きな輪を作り、お祭りの感動を皆で共有し、お祭りという粋な演出もありました。辺りが薄暗くなったところ、大勢のお子さん達が担いだお神輿が会場内を賑やかに練り歩き、初の試みとなるキャンドルイルミネーションが始まりました。透明のカップにカラフルな紙を巻いたキャンドル立てを日赤奉仕団の皆さんが作り、そこに会場のお客さんがそれぞれ夢や願い事、絵を書き込みます。こうして出



来た約八百個を、桃立の福沢舜さん製作の二基のメインキャンドル製作を中心に飾り、地面には大きく、10山下条っ子の文字型に並べ、一斉に点火しました。様々な色でゆらゆらと浮かび上がるキャンドルはなかなか幻想的でしたが、途中で風が強く吹き消えてしまふものも多々、長時間の点灯とならなかり、最後のクライマックスは打ち上げ火花。間近で見上げる火花の爽快な迫力にみな大きな歓声をあげました。会場内の出店も商工会青年部や消防団、村議会議員の皆さん達による楽しく美味しいものばかりで、終始店の前に列ができる賑わいを見せました。下條村の夏の風物詩となったこのお祭り、きつと今年も皆さんの夏の良い思い出になったことでしょう。

塩澤藤男さん(菅野)に瑞宝双光章

四月一日、元下條村助役の塩澤藤男さん(菅野)に対し、多年にわたり地方自治の発展に尽力された功績が認められ、瑞宝双光章が授与されました。



中島實三さんから寄付

中島實三さんは、山二(岩崎)出身で、現在駒ヶ根市に在住されており、昨年九月に「瑞宝双光章」を受章された折にも寄付をいただきましたが、四月三十日村を訪れ、生まれ育つた下條村のお役に立ちたいと、二百万円を寄付していただきました。村

の事業に有効に使わせていただきます。ありがとうございます。



有線テレビジョン放送施設設置許可状が交付されました

七月二十九日、信越総合通信用局にて野洲局長より、ケーブルテレビ放送が下條村全域で受信可能となる、有線施設設置許可状を受理しました。

